

デンソーグループ社員行動指針

社員一人ひとりが取るべき行動の指針



DENSO
Crafting the Core

デンソー基本理念

[会社の使命]

世界と未来をみつめ
新しい価値の創造を通じて
人々の幸福に貢献する

[経営の方針]

1. 魅力ある製品で お客様に満足を提供する
2. 変化を先取りし 世界の市場で発展する
3. 自然を大切にし 社会と共生する
4. 個性を尊重し 活力ある企業をつくる

[社員の行動]

1. 大きく発想し 着実に実行する
2. 互いに協力し 明日に挑戦する
3. 自己を磨き 信頼に応える

はじめに

デンソーは、1949年の創業以来、脈々と受け継がれてきた「新しい価値の創造を通じて、人々の幸福に貢献する」ということを、経営理念「デンソー基本理念」に定めて実践してきました。また、現状の社会課題を踏まえ、グローバル企業としてふさわしい行動を実践できるように、「デンソーグループサステナビリティ方針」（事業環境変化を踏まえ、2019年12月「デンソーグループ企業行動宣言」を改訂）としてまとめました。そして、その指針をもとに、社員一人ひとりがふさわしい行動ができるように、行動規範「デンソーグループ社員行動指針」を制定しました。

ここに書かれていることは、社会人として、企業人として当たり前のことが書かれていると感じられるかもしれません。ただ、私たちデンソーグループが社会から信頼・共感され企業活動を継続していくには、社員一人ひとりが日々の生活の中で、当たり前の行動を積み重ねた上で基本理念にある「人々の幸福に貢献」していくことがとても大事なことです。

どんなによい商品・サービスを提供しても、そこで働く人々が社会の期待に反する行為をしていては信頼を得ることはできません。

社員一人ひとりがこの指針を拠り所にすることにより、私たちが守るべき会社の信頼を築き上げることができるのではないのでしょうか。

また、今日、企業を取り巻く環境は年々変化をし続けています。企業活動はグローバル化が進み、企業内で働く人々の個性や価値観の多様化が進んでいます。そういった時代の変化に応じて、この行動指針や私たちの行動そのものも社会の要請・期待と常に照らし合わせながら進化し続けていかなくてはなりません。

デンソーグループで働く全ての人が、人々の幸せに貢献できる喜び、楽しさを感じ、この会社で働くことが誇りに思うことができる、そんな会社を私たち社員一人ひとりの行動をもって築いていきましょう。

『デンソーグループ サステナビリティ方針』

— 持続可能な社会の実現のために —

デンソーグループは、「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命としています。この使命を達成するために、デンソーグループの全ての社員が、グローバル企業としてふさわしい行動を、社会やステークホルダーとのつながりの中で実践できるように「デンソーグループ サステナビリティ方針」を定めました。

私たちデンソーグループは、各国・地域における誠実な企業行動の実践を通じ、社会の持続的な発展に率先して貢献します。

（事業を通じた社会の持続的発展への貢献）

変化を先取り、技術や生産方法あるいは組織、マネジメントなどの変革を通じて、社会に有用かつ安全な商品・サービスを開発、提供し、社会的課題の解決に努めます。

（法令順守・倫理的行動の実践）

- ・ 国の内外において、関係法令、国際ルールとその精神を順守し、各国・地域の文化・歴史を尊重しつつ、高い倫理観をもって、健全かつ公正な事業活動に努めます。
- ・ 競争法、贈収賄規制法、輸出規制法、知的財産保護法、個人情報を含むデータ保護法などに関わる法令違反行為に関与しません。

（お客様との信頼関係）

「お客様第一」の精神のもと、お客様の期待に応えるよう、優れた技術を追求して、魅力にあふれかつ最高の品質の商品・サービスを提供します。また商品・サービスに関する適切な情報提供、誠実なコミュニケーションを行い、信頼を獲得するように努めます。

（オープンでフェアな事業慣行と責任ある調達活動）

- ・ オープンでフェアかつ自由・適正な取引に努めるとともに、デンソーグループ内だけでなくサプライチェーンにおいてもこの方針が確実に実行されるように、責任ある調達活動に努めます。
- ・ 仕入先様をはじめとする取引先様を対等のパートナーとして尊重し、信頼関係を築き上げて、相互発展を目指します。

（人権の尊重）

「世界人権宣言」「国連ビジネスと人権に関する指導原則」などの各種国際規範を踏まえ、事業活動を取りまくすべての人々の人権を尊重し、いかなる形であれ強制労働・児童労働など人権を侵害する労働またはそれに準ずる行為は行いません。また人権問題を引き起こす原因となりうる紛争鉱物問題など、人権の侵害に加担することのない事業活動に努めます。

(社員を大切にする労働環境・企業風土づくり)

- ・労働時間、休日、賃金などの基本的労働条件に関する各国・地域の法令を順守するとともに、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境の維持・向上に取り組みます。
- ・社員の能力を高め、多様な人材が活躍できるような働き方の実現に努めるとともに、あらゆる雇用の場面において、性別・年齢・国籍・障がいの有無、性的志向などによる差別のない労働条件と機会を提供します。
- ・社員との誠実な対話と協議を通じて、相互信頼・相互責任の価値観を構築し、ともに分かち合います。

(環境経営)

地球環境課題解決に資する技術開発、工場運営、社員行動および環境価値創造マネジメントを実践します。

(社会参画と発展への貢献)

社会との共生をめざし、事業活動を行うあらゆる国・地域において、独自にまたはパートナーと協働しながら積極的によりよい社会づくりに参画し、その発展に貢献します。

(情報開示、ステークホルダーとの対話)

企業情報を適時かつ適正に開示するとともに、ステークホルダーとのオープンかつ公正で、建設的な対話を通じて、経営の透明性を高め、相互理解・信頼関係の維持発展に努めます。

(リスク管理の徹底)

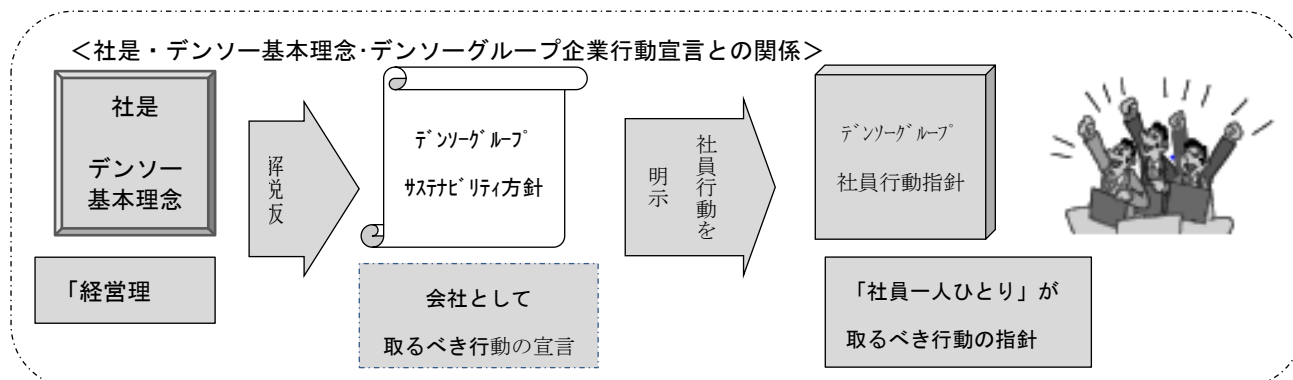
市民生活や企業活動に脅威を与えるテロ、サイバー攻撃、自然災害等の多様化するリスクに備え、常にリスクを把握し、被害の最小化と事業継続との両面からリスク管理を徹底します。

(経営トップの役割)

経営トップは、本指針の精神の実現が自らの役割であることを認識して経営にあたり、実効あるガバナンスを構築します。

本行動指針について

■位置付け



■適用範囲

この行動指針は、(株)デンソーとその国内連結マネジメント対象会社及びデンソーが筆頭株主の会社に属するすべての役員、社員（期間社員、嘱託社員、パート・アルバイト等、会社と「雇用関係」にある者を含む）を対象とします。

■報告および相談

この行動指針に従って行動する上での疑問や質問、または、この行動指針に反する行為やその疑いのある行為を発見した場合には、自分の上司や専門部署あるいは会社が設置・運営している各種相談窓口（企業倫理ホットラインなど）に報告または相談して下さい。

■管理者の責務

この行動指針の浸透にあたり、管理監督の立場にある社員（部下をもつ社員。以下「管理者」）は、下記責務があることをしっかり意識して実践して下さい。

- ①この行動指針に沿った行動を自ら率先垂範すること
- ②部下に対し、この行動指針に沿った行動をとるように日頃から指導・アドバイスすること
- ③下からの相談を真摯に受け止め、この行動指針に沿った適切／的確なアドバイスあるいは対応策を示すこと（必要に応じて専門部署・各種専門相談窓口等にも相談すること）
- ④職場で問題を発見した場合、速やかな問題解決と再発防止に取り組むこと

■この行動指針に反する行為

この行動指針にそぐわない行為で、社員就業規則に定める懲戒事由その他の懲戒規程に抵触する場合には、その行為者は、会社の社員就業規則その他の懲戒規程に基づき処分を受けることがあります。当該行為を放置し、または重大な過失で見落とした役員・管理者も同様に社員就業規則その他の社内ルール等に基づき処分を受けることがあります。

■改廃の手続き

この行動指針の改廃は、「経営審議会」が行います。



目次

I. デンソーグループの一員として……………	8 ～ 9
II. いきいきとした職場をめざして……………	10 ～ 13
III. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために……………	14 ～ 17
IV. 仕入先との共存共栄をめざして……………	18 ～ 19
V. 株主の信頼と期待に応えるために……………	20 ～ 21
VI. 社会と共生するために……………	22 ～ 24

デンソーグループ社員行動指針

「社員一人ひとり」が取るべき行動の指針



I. デンソーグループの一員として

1

私たちは、デンソーグループの一員として、すべてのステークホルダーからの期待に応えられるように、一人ひとりが社会に果たすべき役割を常に意識し行動します。

1－(1) 社会の持続的な発展のために

「会社は社会の公器」といわれるように、社会は会社のために存在しているのではなく、会社が社会のために存在しているのです。

私たちは、仕事を通じてよりよい社会の実現に向けて貢献します。

1－(2) 広い視野と見識をもって

社会の会社に対する見方が厳しくなっている中、会社は社会の信頼を得る行動を取らなければ存在できません。また一方で企業のグローバル化による事業範囲の拡大により、国際競争に参加していく

には、国際的にも求められている、「SDGs (Sustainability Development Goals)」をはじめとするサステナビリティ（持続可能性）に関する社会からの期待に応えていくことが重要です。

私たちは、社会からの期待をしっかりと把握し、法令遵守はもちろんのこと、倫理的行動の実践、さらには社会からの期待に沿った適切な行動をとり、社会から信頼・共感の得られる行動を実践します。

2

私たちは、社会から信頼を得るために、常に「誠実さ」をモットーに行動します。

2－(1) 私たち一人ひとりが会社を代表して

「会社の信頼」は「会社」の行動だけでなく、私たち一人ひとりの行動の積み重ねの結果、築き上げられるのです。私たちは、一人ひとりが「デンソーグループの誰々」と見られていることをしっかり理解し、常に下記視点から判断し行動します。

- ・ 法令や倫理的行動に本当に沿っているだろうか？
- ・ 誰かが見えていても、また社内外に公表されても胸をはっていただけるだろうか？
- ・ 家族が知ったらどんな顔をするだろうか？
- ・ 自分が逆の立場だったらどう感じるだろうか？

2－(2) 「誠実さ」こそが信頼の礎に

「だます」「ウソをつく」「隠す」といった行動・態度が少しでもあると、決して社会から信用・信頼を得ることはできません。それどころか、私たちが今まで築き上げてきた信用・信頼を一瞬にして失うことになってしまいます。

また、日常業務の中で、法令に沿った行動や倫理的行動が、一見会社の利益を損ねるように思える場面に遭遇することもあると思います。しかし中長期の視点で見れば、その行動はむしろ会社の利益となるのです。法令遵守・倫理的行動と会社の利益は対立するものではありませんし、そうした行動を取るという「誠実さ」が会社に不利益をあたえることはありません。

私たちは常に「誠実さ」を基本に、オープンでフェアな行動を実践します。

3

私たちは、日常業務において生じた法令・倫理上の問題を見逃しません。

3－(1) 不安なとき、困ったときこそ冷静に

日常業務において、「法令に触れてないか?」「倫理的に問題ないか?」と不安や疑問を感じる場面に遭遇することは誰にでもあると思います。このような場合には、解決を急いで自己の価値観・ポリシーだけで判断するのではなく、冷静に対処する必要があります。

私たちは、自分あるいは他人の行動が倫理的に問題ないか、不安や疑問を感じた場合には、上司あるいは各種専門相談窓口（企業倫理ホットラインなど）へ相談します。

《自分の行動を振り返ってみよう!》

- 法律・倫理を理解し、胸をはって説明できる正しい行動をとっていますか？
家族に話しても恥ずかしくなく、また家族から共感される行動をとっていますか？

- 法令上・倫理上問題がある行為を見つけたら、
目をそむけず行為者に直接改善を求めたり、または上司あるいは専門窓口へ相談するように心掛けていますか？

- （部下がいる方は）自らが日常から倫理的行動を率先垂範していますか？

- （部下がいる方は）部下から相談を受けたら、真摯に対応していますか？

Ⅱ．いきいきとした職場をめざして

1

私たちは、いきいきと会社生活を送るため、同じ目標に向かって誠実に仕事に取り組むとともに、日々自己研鑽に努めます。

1－(1) 理念・価値観をしっかりと理解して

私たち一人ひとりが、会社の目指す方向と異なる行動をとると、全体としてデンソーグループの目標を達成することができなくなります。

私たちは、デンソーグループの理念・価値観などをしっかりと理解・共有し、目標達成に向けて業務を行います。

1－(2) 「働くこと」の基本を確実に

私たちの会社にはいろいろな立場（職位、職務、雇用形態、勤務形態など）の人がいます。立場によって仕事の内容・役割は違いますが、業務を誠実に遂行する精神は皆同じです。

私たちは、職位や職務あるいは勤務形態に関わらず、労働関係法令や就業規則などの会社ルールあるいは会社の指示を守り、自己の職務に専念し、誠実に取り組みます。例えば、自社と事業競合する他の会社や団体の役員・顧問などへの就任、無許可での兼業、社内における無許可での宗教活動・政治活動など、職務専念の阻害となるような行為は行いません。

1－(3) 常に自己成長をめざして

私たちは、仕事をとおして自己成長を図ることを自らの喜びとするため、積極的に自己啓発に努め自分の力を最大限に発揮します。また常に高いこころざしを持って、自ら教育・研修の機会などに参加し、積極的に自分の仕事に必要な知識の習得や技術・能力の向上に努めます。

《自分の行動を振り返ってみよう！》

●会社の基本理念・ビジョン・方針・目標や各部門の方針・目標をしっかりと理解し、業務にのぞんでいますか？

●会社のルール(社員就業規則など)や上司の指示に従い、誠実に仕事をしていますか？

●自分の仕事に責任を持って、よい成果を出せるようにベストを尽くしていますか？

●就業時間中は、業務に専念していますか？効率的に仕事をこなすように心掛けて、「カイゼン」点を見つけたときは、積極的に提案するように努めていますか？

●常に当事者意識を持って仕事に望んでいますか？
自分の意見をしっかりと持った上で、仲間の意見・アイデアを尊重していますか？

●会社指名必須教育への積極的な参加など、日頃から自己啓発に努めていますか？

2

私たちは、自分だけでなく職場の仲間いきいきと働き、会社生活に幸せや生きがいを感じることができるように、互いを思いやり、尊重します。

2－(1) お互いの人権を認め合って

自分と他人との間には考え方・価値観・信条の違いがあったり、あるいは人種、民族、性別、国籍、年齢、宗教、身体障害・病気、出身地あるいは性的志向などの違いがあります。

私たちはお互いの人権を尊重し、人種・国籍・性別等の違いによる差別、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメント、仲間の名誉を傷つける行為等の嫌がらせなど、人権尊重に反する行為や差別的な取り扱いは行わず、ともに力をあわせて円滑な人間関係を維持し、よき職場づくりに努めます。

2－(2) コミュニケーションを大切に

不祥事の原因の1つに、「他人への無関心さ」があります。

日常業務で日々忙しい中、「職場の仲間がどんな業務をしているのか?」「業務上どんなことに困っているのか?」ということに気をつけるのはなかなか難しいことです。しかし、私たちが一声かけるだけで随分変わっていきます。その一声が自分の仲間を救う・守ることに繋がります。

私たちは日頃からコミュニケーションを大切にし、仲間や部下が困っている場合にも積極的に声をかけ、チームワークで解決をめざします。

2－(3) プライバシーを尊重して

プライバシーを含む個人に関する情報は、その人にとっての「尊厳」ともいうべき大切な財産ですから、それを勝手に他人にもらすことは許しがたい行為です。

私たちは、会社生活を通して知り得た個人情報尊重し、もらすことがないように十分に気をつけます。

《自分の行動を振り返ってみよう!》

●性別、年齢、国籍などの違いがあっても、「職場の仲間」という態度で接していますか?

●職場の正社員以外（期間社員・派遣社員・常駐外注者など）の人に対して、「共に同じ職場で働く仲間」という態度で接していますか?

●（部下がいる方は）業務指導にあたり、部下の尊厳・人権を傷つけないよう意識していますか?

●上司や同僚あるいは自分の仕事に関係のある人とのコミュニケーションに心掛けていますか?

●仲間やお客様の個人情報は、その仲間・お客様にとって非常に重要な財産であることを理解して、気をつけて取り扱ったり、管理していますか?

3

私たちは、安心して仕事に打ち込めるように、心身の健康維持や安全な作業に努め、安全・衛生が確保された職場環境づくりに努めます。

3－(1) 心身ともに健康で

身体だけでなく心も健康でないと、思いどおりに仕事が進まず、それが原因で、職場の仲間や家族との関係にも微妙に影響し、自分自身がつらい思いをすることもあります。

私たちは、楽しく元気にのびのびと仕事をするために、心身の健康維持・管理と安全な作業に努めます。

3－(2) 職場環境も健康的に

職場環境を安全・清潔・健康的に保つため、さまざまな法令や、「デンソー安全衛生基準(DAS)」あるいはその他会社が定めたルールがあります。

私たちは、これらの法令や会社ルールをしっかりと守り、健康的な職場環境作りに努めます。

例えば、会社の分煙ルールを守り、互いに不愉快な思いをしない職場環境づくりに努めます。

3－(3) 職場の秩序・風紀維持も大切に

毒物や凶器などを持ち込んだり、あるいは喧嘩や賭博のような行為も、私たちを不安にさせる行為です。

私たちは、上記のような会社の業務に直接関係のない行為により、職場の秩序や風紀を乱すことはしません。

4

私たちは、互いに気持ちよく仕事をするため、公私にけじめをつけます。

4－(1) 公私のけじめはきちんと

会社のお金で私的な物品やサービスを購入するなどの私的な利益を図る行為は明らかな違法行為です。また、例えば個人的な営業活動等への協力を職場の仲間からお願いされると、断りづらいこともあり、場合によってはそれが原因で仕事を進める上で大切な人間関係が壊れてしまうこともあります。

私たちは、そのような違法行為や、職場の人間関係を壊すような行為はしません。

4－(2) 会社の資産は大切に

私たちは、会社ルールに従って会社の資産や機密情報を大切に取り扱い、管理し、これを私利私欲を満たすために利用しません。例えば仕事で使用する電子メールや電話等は、緊急連絡などの例外的な場合を除き、私的に利用しません。

《自分の行動を振り返ってみよう！》

- 常に5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)に留意して業務を行っていますか？

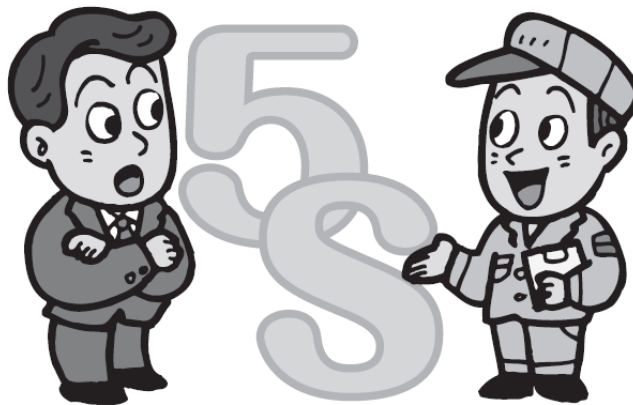
- 職場に毒物・危険物など職場環境にマイナスとなるようなものを持ち込まないようにしていますか？

- 自分の心身の健康管理に常に気をつけていますか？また決められた場所で喫煙するなど、他人の健康被害の回避にも配慮した行動に努めていますか？

- 自職場や自分の業務に関係する安全衛生上の社内ルールを理解し、守っていますか？

- 会社のパソコンやコピー機、電話や電子メールなどの会社の資産を私的に利用しないように気をつけていますか？

- 会社の機密情報を、公共の場で話題にしたり、社内手続をとることなく、社外に持ち出さないように努めていますか？



Ⅲ. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために

1

私たちは、一般消費者から自動車メーカー等の得意先に至るすべてのお客様と喜びを分かち合うために、お客様の期待以上の製品・サービスを世界中に提供します。

1－(1) 感謝の気持ちを忘れずに

お客様から寄せられる生の声には、製品に対するお礼の言葉もあれば、アドバイスや苦情もありますが、これらはすべて製品の開発・改良・販売・サービスへの非常に大切な情報、私たちの成長の源です。

私たちは、よりよい製品づくりをめざし、お客様の生の声を感謝の気持ちをもちながら真摯に受け止め、誠意を持った対応を実践します。

1－(2) 「うれしさ」と「やさしさ」を届けるために

お客様のニーズは、製品を取り巻く社会環境の変化や時代の流れによって大きく変わりますので、スピーディーに情報を吸い上げまたは感知し、それに応えていくことが大切です。

私たちは、お客様のニーズを的確に把握するとともに、知識・技術力・ノウハウ等をフルに活用して、法令・規格の遵守はもちろん、高品質・高性能・低コストであるばかりでなく、環境・安全・快適・利便を重視し、時流を先取りした製品をグローバルに提供することを通して、お客様へ最高の「やさしさ」と「うれしさ」を届けます。

1－(3) 真の期待に応えて

優れた製品を提供することだけに満足してはいけません。その製品を提供している私たち自身が社会から非難を浴びるような行動をとっているとすれば、たとえ製品が優れていたとしてもお客様の心は離れていきます。

お客様は私たちに「『品質のデンソー』にふさわしい行動の実践」も期待しています。

私たちは、「この会社の製品を使ってよかった」と製品・サービスの品質・性能以外の面でもお客様に満足していただくために、お客様の真の期待をしっかりと理解し、「優れた製品・サービス」の提供はもちろん、社会人としてふさわしい行動を実践します。

1－(4) 問題には迅速・誠実に対応して

万一、製品事故等が発生した場合、それ以上お客様に迷惑をかけないため、迅速かつ誠実に対応する必要があります。

私たちは、お客様との信頼関係を維持するために、製品不良あるいは製品事故等が発生した場合には、現地現物をモットーに、迅速な事実確認かつ必要な対策を実施するとともに、原因を徹底的に追究し再発防止策を講じます。またこの経験を活かし、更に優れた製品の改善・開発を追求していきます。

1－(5) 情報提供はタイミングよく正確に

私たちは、お客様に製品について正しく理解いただけるように、必要十分かつ正確な製品情報の提供に努めます。またお客様から説明を求められた場合には、お客様に理解いただけるまで丁寧に対応します。

2－(1) 法令遵守は絶対に

「グローバル企業」だからといって、私たちの考え方・価値観などを押し付けることなく、「郷に入っては郷に従え」の精神を忘れてはなりません。私たちは、海外のお客様と取引をするにあたっては、日本の輸出入規制関連法を遵守することはもちろんのこと、国際ルールや現地のあらゆる法令を遵守するとともに、現地の文化・歴史を尊重し行動するように努めます。

2－(2) 私たち一人ひとりもグローバルマインドで

直接海外のお客様との取引に関わってなくても、海外拠点へ出張することがあったり、日本にいながら海外拠点との間で仕事に必要な資料やデータを e-mail で送ったり、受領したりすることもあります。このような場合も当然国際ルールや輸出入規制関連法をはじめとした法令に従って対応することはもちろん、倫理・マナーを守ることが必要です。

私たちは、世界中のどの国の人々からみてもグローバル企業の一員として認められるように、どこにいても常にグローバルマインドで仕事に取り組みます。



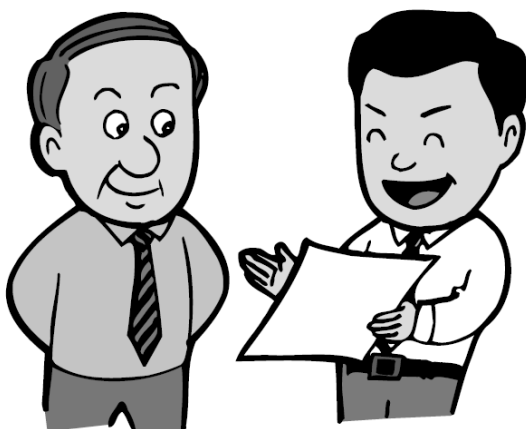
3

私たちは、開かれた市場経済のなかで事業活動を行う立場にある者として、競争法・独占禁止法(競争法と言います)を遵守し、自由で公正な競争に基づく取引を行います。

3－(1) 自由で公正な競争に基づく取引のために

私たちの事業活動がグローバル化していく中、自由で公正な競争を求める各国の競争法も厳格さを増しており、万一、これに反する行為を行えば、会社のみならず私たち自身も厳しく罰せられることになります。こうした環境下、私たちは競争法の遵守、すなわち自由で公正な取引の実践こそが、自らの競争力や持続的成長力、ひいてはお客様からの信頼や期待を勝ち得る条件であることを認識し、行動します。

私たちは、いかなる理由・場合であれ、競争法違反行為、特に競合会社との価格・販売先の調整行為はもとより、合理的理由のない接触などその疑いを生じさせる行為にも関与しません。



《自分の行動を振り返ってみよう！》

●お客様が私たちの製品・サービスに満足していただけることを喜びと考えていますか？

●お客様の声を受けたときに、まずお客様の立場で考えるようにしていますか？

●コスト・納期が厳しくても、品質・安全を最優先することを理解して行動していますか？

●品質・安全性あるいは環境保護・保全に関わる問題を見つけたとき、早急に問題を打ち上げるようにしていますか？

●問題が発生したとき、「現地現物」の精神のもとで迅速に行動し、問題の本質的な解決に努めていますか？

●海外取引を行う場合、現地の法律や文化・習慣などを尊重して、国際ビジネスを進めていますか？輸出入を行う際、輸出入規制関連法に基づく社内手続きを行っていますか？

●競合会社との間で、価格についての話し合いや販売先の調整、製造・販売数量の制限、または取引の相手方を不当に制限するなどの行為をしないよう気をつけていますか？



IV. 仕入先との共存共栄をめざして

1	私たちは、仕入先や系列サービス店と「よきパートナー」としてあり続けるため、オープンでフェアな取引を行います。
---	--

1－（１）信頼は「オープンでフェア」な姿勢から

独禁法や下請法、不正競争防止法その他の競争法関連法規や、当事者間で取り決めた契約条件等、仕入先や系列サービス店との関係においても守るべき基本ルールが存在します。このルールに反すれば、市場における信頼やポジションを失うこととなります。

私たちは、仕入先や系列サービス店との関係においても、より良い取引関係を築き継続していくため、それらの関連法規や契約条件等をしっかりと遵守します。例えば、次のような行為は行いません。

- ① 公正な条件を突きつけて取引を継続する行為（取引先の販売価格を指定する行為、競合会社との取引をさせないようにする行為等）
- ② 越的な立場を利用して自分の思い通りに取引を図ろうとする行為（買い叩き行為、不当な返品・受領拒否、強制購入など）
- ③ 社から入手した 営業秘密を勝手に流用して自己の利益を得る行為など

1－（２）常に謙虚さをもって

仕入先や系列サービス店との関係では、取引上の立場により、仕入先・系列サービス店から丁寧に接してもらえるため、無理な要求をしてもいいような気分になってしまいがちです。

私たちは、そのような関係であることを理解し、謙虚さをもって公正・対等の精神で接します。

1－（３）企業間でも節度ある関係で

私たちは、仕入先や系列サービス店からの贈答・接待の提供の申し入れに対しては、「一般の商慣習に照らして妥当な範囲であるか？」「法令・倫理道德に照らしても適切な範囲内であるか？」という視点から十分検討し、慎重に行動します。

2

私たちは、直接取引関係のない企業に対しても、その事業活動を尊重し、正々堂々と競争します。

2－(1) 「オープンでフェア」の原則を貫いて

市場には、得意先や仕入先・系列サービス店等以外に、私たちとは直接取引のない企業も多数存在しています。

私たちはそれらの企業の事業活動も尊重し、オープンでフェアな態度で自らの事業活動を推進します。例えば次のような行為は行いません。

- ① 他社製品を模倣して自己の利益を得る行為
- ② 他社への誹謗・中傷や他社製品に関するウソの情報を流すような行為
- ③ 他社の営業秘密を盗み出して利用する行為など

2－(2) 知的財産権を相互に尊重して

知的財産（特許、商標など）は私たちにとっても、そして私たち以外のすべての企業にとっても非常に重要な財産であることには違いありません。

私たちは、他社の特許権・商標権・著作権などの知的財産権を尊重し、権利侵害しないようにお互いに十分留意します（お客様や仕入先・系列サービス店との関係でも同様です）。

《自分の行動を振り返ってみよう！》

●下請法などの法令上の疑問をもったとき、上司や専門部署へ相談するようにしていますか？

●公平・公正な取引関係であることを常に意識し、仕入先に対して一方的に意見・要望を押し付けることにならないように、言動・行動に気をつけていますか？

●一般の商慣習に照らし、妥当な水準を超えと思われる贈答・接待の提供を受けないようにしていますか？疑問があった場合、上司に相談するようにしていますか？

●他社の知的財産権（特許権、商標権・著作権等）や営業秘密を侵害しないように気をつけていますか？取引上、他社から開示された営業秘密を大切に管理していますか？

V. 株主の信頼と期待に応えるために

- | | |
|---|---|
| 1 | 私たちは、長期安定的な成長を目指して、会社資産を効率的に活用してデンソーグループ全体の企業価値を向上させるように努めます。 |
|---|---|

1－(1) 会社資産を適正に運用して

デンソーグループには、機械・治工具、事務用機器・備品、土地・建物、資金・有価証券などの有形のものから、知的財産、機密情報といった無形のものまで、多くの資産があります。

私たちは、これらの資産を適切に管理するとともに、最大限に活かすことで企業価値の向上に努めます。

1－(2) リスク発生の未然防止に責任をもって

リスクは発生を回避するためには、日頃からの未然防止への心がけや管理が大切です。

私たちは、リスク発生によりデンソーグループの企業価値が低下することがないように、自職場で発生しうるリスクを把握し、日頃からリスクの未然防止を心掛けます。万一リスクが発生しても、ダメージを最小限にとどめるべく、職場の仲間や関係部署と連携して迅速かつ適切に対処します。

- | | |
|---|---|
| 2 | 私たちは、デンソーグループの健全かつ透明な事業経営を担う一員として、一人ひとりが責任を持って「誠実」に資産を利用・管理します。 |
|---|---|

2－(1) 会計処理はすべての職場で適正に

1つの職場における不適切な会計処理（経費の支払いや物品の購入時の不正など）や虚偽報告であっても、デンソーグループ全体として大問題となり、ひいてはデンソーグループとして社会から非難を浴びる結果になります。

私たちは、法令や社内ルールを守り、各職場での会計処理・棚卸等は適正に行い、正確に報告します。

- | | |
|---|---|
| 3 | 私たちは、株価に影響する恐れのあるデンソーグループあるいは他の上場企業の未公開の重要情報（インサイダー情報）を適切に取り扱います。 |
|---|---|

3－(1) インサイダー情報の管理はしっかりと

私たちは、仕事の中で、いわゆる「インサイダー情報（会社の内部の人間以外には未公開の重要な情報）」を知りうる立場にあります。この情報を使って株式・社債等の売買を行うことは、法令にも違反しますし、信頼と期待をよせている株主等を裏切る行為といえます。

私たちは、インサイダー情報が公開されるまでは社外の人（家族含む）にインサイダー情報をもらさないことはもとより、株式・社債等の売買はせず、インサイダー情報については法令や社内ルールに従って適切に取り扱います。

《自分の行動を振り返ってみよう！》

●自職場で発生しうるリスクを把握し、リスク発生時の対応を理解していますか？

●会社のルールに従って、会計処理（予算の執行、費用科目の設定、棚卸など）をしていますか？

●職場の予算を、業務上必要な範囲において有効的に活用していますか？

●社内で未公開の、内部の者しか知り得ない情報を知ったとき、「インサイダー情報」であることを理解してその取り扱いや株式売買の判断に注意を払っていますか？ 家族を含め社外の人にも知らせないようにしていますか？



VI. 社会と共生するために

1

私たちは、「美しい地球」の住民であり続けるために、地球環境保護・保全に役立つ行動を積極的に行います。

1－(1) 地球にやさしく

私たちは法令や業界の自主規制等を遵守するのはもちろん、デンソーグループの長期環境活動指針「エコビジョン」に従って、社会共通の課題となっている様々な環境問題（地球温暖化、生物多様性の保全、資源枯渇、環境負荷物質、大気汚染問題、廃棄物・リサイクル問題など）に十分に配慮して、製品の企画・研究・開発あるいは製造業務を行います。また各職場におけるオフィスごみの低減やリサイクル・省エネ活動、その他会社が推進する各種環境活動にも積極的に参画します。

1－(2) 私生活においても配慮して

仕事上だけでなく、私生活においても地球・地域環境と密接にかかわっています。

私たちは、地球・地域に住む一員として、自然の恵み（生態系サービス）の重要性を認識し、私生活においても、地域社会が自主的に推進する自然保護活動（植林、ゴミの分別回収、美化活動など）に積極的に参加することはもとより、節水・節電など、私たちがすぐにできる活動は、小さなことでも進んで実践するように努めます。



2

私たちは、「よき企業市民」として、より良い暮らし・豊かな社会づくりに向けて、積極的に社会貢献活動に参加し、社会へ関わるように努めます。

2－(1) 地域社会の一員として

私たちは、製品やサービスを通じた社会への貢献にとどまらず、より広い視野からボランティアをはじめとした社会貢献活動の重要性を理解します。そして国際・地域社会の課題解決への貢献に向けて、積極的に活動に参加・協力します。

《自分の行動を振り返ってみよう！》

●ペーパーレス、ごみ分別、省エネなど、会社が推進する活動に協力するように努めていますか？

●自分の居住地域の自然保護活動（植林、ゴミ分別回収、美化活動など）やボランティアをはじめとする社会貢献活動に協力するように努めていますか？地域住民との良好な関係を保ち、コミュニケーションに努めていますか？

私たちは、仕事か私生活かを問わず、常に社会的常識・良識に従った品格のある行動を取ります。

3－（１）反社会的勢力には毅然として

反社会的勢力や団体は、私たちだけでなく社会全体の秩序・安全を脅かすものですから、社会とともに対決していかなければならない問題です。

私たちは、反社会的勢力・団体に対しては毅然とした態度で臨み、一切の関係を遮断します。たとえ不当な要求を受けた場合でも、決して屈せず、会社の担当窓口や警察その他適切な窓口と連携して、迅速な解決を図るように努めます。

3－（２）官公庁等とは節度ある関係で

官公庁・政党、公務員との関わりでは、贈答や接待、献金・寄付行為は法律で厳しく規制されています。

私たちは、国内外の法令および社内ルールを遵守し、社会一般から見て「もたれ合い」「癒着」と誤解されるような行動は厳に慎み、オープン・健全な関係を保ちます。また万が一官公庁等から請求されたとしても、決して応じません。

3－（３）私生活こそ堅実・健全に

私生活が健全であることは、会社生活へもよい影響があるばかりか、私たち一人ひとりの人生を充実させるための大前提でもあります。

私たちは、私生活においても、社会通念に照らして堅実かつ健全な社会生活を送るように努めます。

3－（４）自動車産業で働く一員として

デンソーグループは、自動車産業で働く一員として、「人と環境にやさしい」クルマづくり・社会づくりへの貢献を通じて、社会の人々へ幸せや喜びを届ける使命があります。

私たちは、お年寄りから子供のだれもが安心して生活できるクルマ社会をめざして、交通ルールを常に守り、悪質運転や交通事故の撲滅に向けて積極的に貢献し、エコドライブを心がけるとともに、模範的ドライバーであり続けるように努めます。

《自分の行動を振り返ってみよう！》

●取引先の決定にあたり、慎重に判断していますか？

取引先が反社会的勢力あるいは反社会的勢力に関与していることがわかつたら、すぐに上司あるいは社内専門部署へ相談していますか？

●政治家・公務員とは、節度ある関係を保っていますか？

贈答・接待をしないようにしていますか？

●私生活においても、誰が見ても恥ずかしくない行動を取るように努めていますか？

甘い誘いにのらないよう心がけ、節度ある生活を送っていますか？

●デンソーグループの一員として、交通ルールの遵守はもちろん、他人や環境にやさしい運転に心掛けていますか？



MEMO

デンソーグループ社員行動指針

【初版】 1998年1月

【改訂】 2020年4月（第5版）

【制作】 ㈱デンソー

（事務局） 法務部、グローバル戦略部

* 本冊子の内容を無断で転載・転用・複写することを禁じます

* 本冊子は著作権©は㈱デンソーに帰属します。